

里庄町

町勢要覧
2025

さとしょうちょう

SATOSHOCHO



子どもの元気な声が響き

みんなの笑顔が

あふれるまち



里庄町

第4次振興計画

(後期基本計画)

里庄町のこれから

子どもたちが健やかに生まれ育ち、町民すべてが元気で心豊かに暮らせるまちになることで、みんなの笑顔が生まれます。また、子どもたちが進学などで一時的にまちを離れても、将来、また住みたいと思える魅力あるまち、高齢になっても安心して生活できるまちでありたいと考えます。

このために、本町は町民一人ひとりが地域に積極的に関わり、いきいきと活動し、ともにまちづくりを行うための将来像を定め、施策を進めています。

里庄町の将来像

子どもの元気な声が響き
みんなの笑顔があふれるまち

シビックプライドの まちづくり

シビックプライドとは、ふるさとを学び、愛着を持つ「郷土愛」とどまらず、まちの課題解決や活性化といった「まちづくり」への参加意識を高め、具体的な行動を起こそうとする姿勢を醸成するものです。

シビックプライドの考え方を本町にも導入し、町民一人ひとりの自己実現の活動、社会貢献の活動に限らず、「里庄町が好きだから」ということが活動の原動力となることを意識できるよう取り組みを進めます。

すべての町民が本町に愛着を持ち「みんなで地域を考えよう」、「自分たちの活動で地域が変わる」、「地域での暮らしが豊かになった」という実感を積み重ね、魅力あるまちづくりにつなげています。

コンパクトな まちづくり

本町では、町民の豊かな暮らしの確保や若者が魅力を感じるまちづくりを通して、地域の活性化を推進していくとともに、人や環境にやさしいまちづくりを推進するため、快適で緑豊かなコンパクトなまちの形成を目標としています。

地域資源を生かした 自主・自立のまちづくり

本町は、国道2号、J R山陽本線が通る交通利便性の高いまちであるとともに、東は浅口市、西は笠岡市と隣接し、岡山・倉敷都市圏や福山都市圏に近接している恵まれた地理的環境を有しています。また、玉島・笠岡道路のアクセス道路（県道六条院東里庄線）の整備などが進んでおり、ますます利便性の向上が見込まれます。こうした環境を生かして、ベッドタウン、ものづくり産業のまちとして、自主・自立のまちづくりを推進しています。

多くの人から「住みたいまち」、「住み続けたいまち」として選ばれるよう、地域経済の発展や雇用の創出、地域の魅力向上、地域コミュニティの活性化などに取り組み、持続可能なまちづくりを推進しています。

親育ち・子育て みんなで成長するまち

「親育ち・子育て みんなで成長するまち 里庄」を基本理念に地域全体で子育てに関わり、支援し合うまちを目指し、子育て支援やサービスの充実に取り組み、親子が安心して暮らすことのできる環境整備を進めています。

こども家庭センターの設置

すべての妊産婦、子育て世帯、子どもに対する相談支援体制を強化しています。

子育て世帯応援

妊婦または3歳以下の子の保護者世帯を対象にタクシー料金の助成を行っています。
また、町独自の出産支援金の助成を行っています。

子育て支援アプリの活用

乳幼児健診の情報などをデジタル化することで、保護者の負担軽減と業務の効率化を図っています。



保育士確保の施策

保育ニーズの増加に対応するため、保育士就職支援事業補助金の交付など、保育士の確保に力を入れ、保育を必要とする子どもの受入れに向けた取り組みを行っています。

子育て支援の推進

安心して子育てができるよう保育相談や「かるがも教室」、子育て広場「げんキッズ」を利用し、保護者同士が交流できる機会を設けています。

また、里庄町放課後等デイサービス事務所「ぽかぽか」などを活用し、療育が必要な子どもたちに障がい福祉サービスを提供しています。

元気でいきいきと暮らせるまち

すべての町民が住み慣れた地域で、相互に助け合い、支え合いながら健康で生きがいのある生活ができるよう、保健・医療・福祉サービスの充実をはじめ、町民参加による健康づくりの推進、地域医療体制の充実など地域共生社会の実現に向け、町民の健やかな暮らしを支える環境づくりを進めています。

健康づくりの推進

フレイル予防や健康づくりを推進するため、中央公民館・西公民館にはラウンドフィットネス用の器具、東公民館にはいきいき体操で使用する設備を導入しています。

高齢者の社会参加の促進

経済的負担の軽減と外出機会の促進を図ることなどを目的として、要件に該当する高齢者に対してタクシー料金の助成を行っています。

生活習慣病対策の推進

集団健診で、がん検診や腹部超音波検診を同時に実施するとともに、特定健診の基本項目に貧血検査や心不全マーカーを追加するなど、健診項目の充実を図っています。

障がい者の就労支援の充実

就労奨励金の交付や就労継続支援B型事業所「四つ葉の家」から物品などの優先調達を行い、障がいのある人の経済的自立につなげています。



希望を持ち、豊かな心を育むまち

子ども一人ひとりを大切にしたいきめ細やかな教育を推進し、非認知能力の育成、基礎的・基本的な学習内容の定着と家庭環境の充実に取り組んでいます。

また、生涯学習や芸術・文化活動、スポーツ活動への社会参加を通して、その成果を還元することができるまちづくりを進めています。

教育環境の充実

幼稚園・小学校・中学校に学校生活支援員を配置し、学習環境の充実を図っています。また、小・中学校の全クラスに電子黒板を導入・運用するとともに、1人1台のタブレット端末を活用し、わかりやすい授業に取り組んでいます。

スポーツの普及

スポーツ推進委員、スポーツ協会、各種スポーツ団体と連携してスポーツ教室を開催しています。また、町民スポーツ交流大会、ふれあいマラソン大会を毎年開催しています。

さとしょう未来塾

「里ちゃん寺子屋事業」、様々な体験活動を行う「里ちゃんチャレンジ・ワールド事業」を実施しています。

図書館の充実

ブックスタート事業やおはなし会、館内の学習スペースの拡充および蔵書の充実を図り、読書のきっかけづくりに努めています。



里庄町の偉人

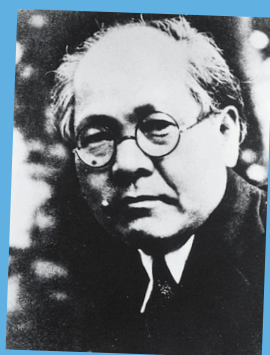
本町は歴史に大きな影響を与えた偉人を輩出しています。



おがわ 郷太郎
(1876~1945)

「財政通の小川」と
称された政治家

大蔵政務次官に就任後、廣田内閣の商工大臣、近衛内閣の鉄道大臣を歴任し、地元では、里庄駅の開設や産業経済の発展に寄与しました。また、昭和43年（1968年）に従三位勲一等旭日大綬章を追贈されました。



にしな 芳雄
(1890~1951)

日本の原子物理学の父

現在もエックス線天文学などで用いられる「クライン・仁科の公式」を導出し、物理学の歴史に名を残しました。また、理化学研究所で仁科研究室を主宰して日本初のサイクロトロンを完成させるなど、現代物理学研究の一大拠点を創りました。



さとう 清明
(1905~1998)

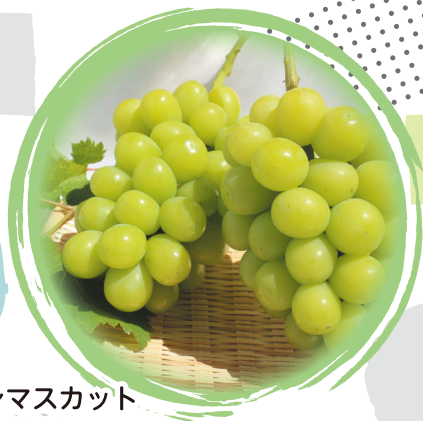
マルチな才能を持つ
博物学者

植物学や動物学などの研究に取り組み、日本で最初の妖怪事典『現行全国妖怪辞典』を出版しました。非常に貴重な桜「菊桜」を里庄の実家に接ぎ木して戦禍から守り、戦後の岡山県の文化財・天然記念物の指定や保護に尽力しました。

活力と魅力あふれる元気なまち

国道2号やJR里庄駅などの主要交通道路・施設周辺での商工業の振興により、活力あるまちづくりを進めています。

また、本町の認知度とイメージを高めることにより、関係人口の創出・拡大を図る取り組みを実施し、まちの魅力を発信する「シティプロモーション」を推進しています。



シャインマスカット



フリーズドライ味噌汁



白桃

ふるさと納税

自身のふるさとや応援したい自治体に寄附ができる制度です。寄附金の使いみちを指定していただくこともでき、子育て支援や教育支援、より良いまちづくりなど様々な事業に活用しています。



ジェラート



木製家具



手延うどん



甘酒

つばきの丘運動公園

町出身アーティストの音楽が流れ、晴れた日には瀬戸内海を望むことができる展望デッキやアスレチック遊具、遊歩道などがあり、子どもから大人まで全世代が楽しめる総合運動公園です。

PR事業

ホームページや観光イベント、東京の岡山県アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」において里庄町PRフェアを開催し、本町の魅力を発信しています。

里庄町認定インフルエンサー

里庄町認定インフルエンサー「さとたびすと」を任命し、本町のお薦めイベント、グルメ、スポットなど、地域の魅力を全国へ広く発信し、町のイメージアップと認知度の向上を図っています。

里庄町イメージキャラクター里ちゃん

より多くの人に町の魅力を感じてもらうために、イメージキャラクターの里ちゃんの活動紹介や関連商品のPRに力を入れています。



快適で安全・安心なまち

快適な住宅地、公共下水道の整備、ごみ処理施設の整備、公共施設のバリアフリー化などを推進し、安心して住み続けられる居住環境の形成を図っています。

また、迅速かつ的確な対応が可能な防災・減災対策や防犯・交通安全・消費者問題対策を行うとともに、行政・学校・地域・事業者などが協力・連携した安全・安心なまちづくりを進めています。

防災力の向上

自主防災組織の活動や防災士の資格取得の費用に対する補助、防災出前講座を継続して行い、地域の防災力向上の促進を図っています。

安全対策の強化

危険箇所の点検や防犯灯の整備に加え、町内の通学路、主要幹線道路沿いに犯罪の抑止力として重要な役割を果たす防犯カメラを増設することにより、地域の安全・安心な暮らしの確保に努めています。

災害情報伝達手段の整備

戸別受信機、スマホアプリ、分館放送などを最大限に活用し、災害時に正確な情報を迅速に発信できる体制を構築しています。



地域ぐるみの活動

子ども安全パトロール、防犯パトロール隊といった町民ボランティアによる見守り活動を行い、地域ぐるみで防犯対策・交通安全対策に取り組んでいます。

町民とともに創る自然と共存する美しいまち

町民・事業者・行政が一体となって、ごみの減量化や資源の有効活用などに積極的に取り組めるよう意識啓発を図り、環境の汚染防止と保全に向けた施策を推進し、緑豊かな郷土を次代に継承していくまちづくりを進めています。

また、分館単位の地域づくりを進める本町の特性を生かし、地域を担う人づくりや地域コミュニティの強化を推進しています。

ごみ減量・リサイクルの推進

資源回収推進事業や家庭用生ごみ処理機器などの購入助成を行い、家庭ごみの排出量を減少させる取組みを行っています。

まちづくりの推進

地域住民主体の様々な分館活動や町行事への参加を支援し、自主的な分館活動を支援するため、まちづくり補助金を交付しています。

花いっぱい運動の推進

分館や幼稚園・小学校・中学校などと連携を図りながら、公共空間の美化活動を促進し、花と緑があふれる美しいまちづくりを展開しています。



SATOSHO MAP

里庄町はこんなまち

1889年(明治22年) 新庄村・浜中村が合併して新庄村となる
1905年(明治38年) 里見村・新庄村が合併して里庄村となる
1950年(昭和25年) 6月1日の町制施行によって里庄町となる
2025年(令和7年) 町制施行75周年を迎える



野球場



弓道場



つばきの丘運動公園



里庄町立図書館



里庄町役場



仁科会館



仁科芳雄博士生家



歴史民俗資料館



里庄総合文化ホール「フロイデ」

年間行事・イベント紹介

1月

消防出初式

町内で活動する消防団員、婦人防火クラブ員、笠岡地区消防組合職員が一堂に会し、一年間の防火と防災への決意を新たに誓います。また、消防活動に尽力し功績のあった団員などをたたえ表彰が行われます。

はたちの集い

20歳を迎えた若者が集まり、大人としての自覚と責任を心に刻みます。式典後の交歓会では恩師も招かれ、同級生との思い出話や近況報告で楽しく盛り上がります。

2月

健康まつり・体力づくりふれあいマラソン大会

健康増進と生活習慣の向上・改善を図ることを目的に、健康チェックや体力測定などが実施されます。健康まつりと合わせてマラソン大会が開催され、町内を楽しみながら走ります。

3月

観梅会

仁科芳雄博士生家の庭に毎年凛と咲く梅を愛でながら、博士を偲ぶ会です。当日はぜんざいや生家の庭に実った梅から作られた梅干しをいただきながら梅の花を観賞します。

6月

小川賞授与式

小川郷太郎博士は、仁科芳雄博士、佐藤清明氏とともに本町が生んだ偉人。生誕日の6月9日前後に生誕の地である記念碑前で行われる小川賞授与式では、町内の小学校6年生を対象に、学業、スポーツ、生活態度が優れ、他の人の模範となっている児童に賞が贈られます。

7月

暁天座禅

暁天座禅は町内の小学生、中学生が参加して、早朝の6時から1時間座禅に取り組む夏休みの恒例行事。里庄町武道館で4日間、岡山市東林寺の住職の指導のもと、張り詰めた空気の中で静かに自らを見つめ、自立する精神を養います。

8月

夏まつり里庄

毎年8月上旬に、里庄中学校グラウンドで開催しており、会場には町内外から多くの人々が訪れ、本町の夏の風物詩となっています。会場には多くの出店が並び、ステージでは、キャラクターショーやライブ、抽選会など盛りだくさんのイベントが行われます。

ロボットコンテスト

アイデアと技術で勝負する科学の祭典、ロボットコンテスト。仁科芳雄博士ゆかりのイベントとして開催されています。中学生の部と高校生の部があり、毎年県内の各校から多くのチームが参加し、技を競います。

9月

町民スポーツ交流大会

令和5年度に「厚生体育大会」から「町民スポーツ交流大会」へと名称変更しました。様々な競技を通して幼児から高齢者まで思いきり汗を流して楽しく交流できるイベントです。

11月

産業文化祭

庁舎前特設ステージ・福祉会館・里庄総合文化ホール「フロイデ」などで各種団体による多彩なプログラムが催されます。会場には多くの出店が並び、文化協会による書道や絵画、陶芸、写真といった作品展や芸能祭も開かれ、町内外から訪れる家族連れなど多くの人でにぎわいます。

12月

仁科賞授与式

仁科賞は仁科芳雄博士の偉業をたたえ、学業に意欲的で特に理数系に優れ、創造力豊かでリーダーシップを有する中学校3年生に授与する賞です。仁科博士の生誕日の12月6日前後に、仁科芳雄博士生家で授与式を行っています。

仁科芳雄博士生誕日記念科学講演会

仁科芳雄博士の顕彰事業として、博士の生誕日の12月6日前後に、科学講演会を開催しています。これまでにノーベル賞を受賞した小柴昌俊先生、野依良治先生、益川敏英先生、小林誠先生、梶田隆章先生など、日本を代表する研究者が講演しています。

里庄町の

キャラクター紹介

里庄町イメージキャラクター 里ちゃん

里庄町の「S」の文字と、町の木「つばき」をあしらったもので、緑豊かで心ふれあう町の人々の笑顔や未来に向けて歩く様子が明るく、楽しく表現されています。



里庄まこもたけキャラクター まこりん

まこりんは、里庄町の特産品「まこもたけ」の妖精です。里庄町の木「つばき」の葉っぱを食べすぎて、手と足がつばきの葉っぱと花になっています。



発行 里庄町
〒719-0398 岡山県浅口郡里庄町大字里見 1107番地2
TEL: 0865-64-3111(代) FAX: 0865-64-3618
<https://www.town.satosho.okayama.jp/>

発行年 2025年(令和7年)
制作 ニッポー印刷株式会社



町の木「つばき」

つばきは日本古来のもので、日本書紀や万葉集にも登場しており、常緑樹で親しみやすく花も美しい。また、栽培も比較的容易です。花言葉は「謙遜の美德」。



町章

町章は、ひらがなの「さ」を図案化したもので、円は町民の和と団結を、翼の部分は将来への飛躍と発展をあらわしたものです。